

赤瓦の映える景観まちづくり事業

島根県江津市

『未来に残す誇るべき赤瓦景観の継承と創造のあり方』

－赤瓦の映える景観まちづくり計画の検討－

概要	<p>江津市の地場産業である石州瓦は、江戸時代を起源とし、特に来待石の釉薬による「赤瓦」は、独特な味わいの色彩を持っている。市内には赤瓦の伝統的な街並みが今なお多数存在し、石見地方を代表する特徴ある景観を形成している。しかし近年ライフスタイルの変化等様々な要因により良好な赤瓦景観が失われつつある。本事業は、良好な赤瓦景観の保全と新たな赤瓦景観の創出を目指し、産業関係者や住民と行政の協働のもと、赤瓦景観形成の基本的な考え方やルールづくり、また市民の赤瓦景観に対する意識の向上のしくみを検討するものである。</p>
実施内容	<p>① <「赤瓦の映える景観まちづくり計画案」策定調査> 赤瓦景観の資源調査として、市内に残る赤瓦の街並みの状況を調査するとともに航空写真や現地調査をもとに住宅や社寺の赤瓦比率を調査した。また、赤瓦景観に対する市民の意識を把握するためにアンケート調査を行った。調査結果に基づき、赤瓦景観保全地区(案)の設定、推奨する赤瓦の色の設定を行うとともに、建築物の景観形成指針(案)、景観まちづくりの推進施策(案)を作成した。</p> <p>② <「赤瓦の映える景観まちづくり計画」検討協議会の設置及び運営> 官民協働による計画づくりを推進するために学識者(建築・教育・文化)、市民・企業関係者、行政(国、県、市)による検討協議会を設置した。協議会では、赤瓦景観の現状や課題、市民意識を認識し、赤瓦景観の保全や形成についての方向性について議論するとともに、赤瓦住宅デザインコンテストや赤瓦景観コンテストの審査も行った。</p> <p>③ <赤瓦住宅設計コンペの開催> 新たな赤瓦住宅建設の推進に資する「赤瓦住宅計画指針案」の基礎資料とすることを目的に、和風、洋風、和洋折衷部門について設計作品を募集し、「赤瓦の映える景観まちづくり計画」検討協議会で審査を行い、各部門について優秀賞を選定した。審査に先駆けて応募作品を市内のショッピングセンターに展示し、人気投票も行い審査の参考するなど、市民の関心を高める活動を行った。</p> <p>④ <赤瓦景観コンテストの開催> 過去5年以内に市内で新築、改築された良好な赤瓦住宅の顕彰、江津市の美しい赤瓦景観の再発見を目的とした赤瓦フォトコンテスト、また市内の小中学校の児童生徒を対象に「ふるさと教育」に資するものとして赤瓦の住宅・街並み絵画コンクールを行った。 受賞作品は市内ショッピングセンターに展示し、期間中多数の来場者を得た。この状況はマスコミにも大きくとり上げられ、赤瓦景観に関する取組みが島根県内に広く知れ渡った。</p>
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案の調査・策定により、赤瓦の街並みの詳細な状況や課題、市民の意識の変化が把握できた。また江津の赤瓦景観を中心とする景観形成の方向性を定めることができた。 ・官民協働の検討協議会により、景観だけではなく、地場産業としての赤瓦の動向や今後の活用についての共通認識が得られた。 ・各種コンテストや設計コンペの開催、その作品展示により、市民の赤瓦景観への関心が高まった。また今後の赤瓦住宅指針作成のためのデータの蓄積ができた。 ・これまで本市が取り組んできた、赤瓦への助成制度の効果や、普及啓発誌の発行などによる赤瓦景観に対する市民意識の向上などの有効性が確認できた。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市の顔となる中心市街地での赤瓦による景観の向上、地域のシンボルとなる社寺の赤瓦の保全、公共施設での赤瓦の採用、赤瓦以外の屋根から赤瓦への転換等の方策の検討が必要。 ・赤瓦の色味の定義は明確ではなく、助成対象も含めて明確化することが必要。 ・業績が悪化している瓦産業や担い手不足が進む屋根施工業への対策が急務。 ・事業期間の関係で、赤瓦コンテストや赤瓦住宅設計コンペ等は市民に対するPR期間が不十分であった。今後も継続して行っていくことが必要。 ・江津市の赤瓦景観から島根県の赤瓦景観へ位置づけを拡大していくことが必要。

<p>今後の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画の中で赤瓦景観を位置づけ、赤瓦景観保全地区の指定、規制誘導手法、公共施設の景観形成指針や社寺仏閣等の景観誘導手法等を検討していく。 ・目指すべき瓦色や地場産業保護等の視点から、赤瓦の助成制度の見直しを行う。 ・今後も赤瓦住宅設計コンペ及び赤瓦住宅デザインコンテストのデータを蓄積し、検討を深め、赤瓦を使用した住宅の設計指針を作成し、新築住宅による統一感のある景観形成と、地域住宅関連産業の振興に繋げる。 ・赤瓦景観に対する市民意識をさらに醸成するため、各種コンテストを継続するほか、赤瓦ガイドウォーキングの実施など新たな取り組みを検討する。 ・教育機関と連携し、石見地方の赤瓦生産や赤瓦の街なみの成り立ちなどを地域学習の題材として活用することで、赤瓦景観への理解や街なみに対する意識の向上に努め、赤瓦資源に高い誇りを持ち、地域の次世代を担えるような人材の育成を目指す。 ・江戸時代に、石州瓦が日本の各地に伝搬していったことを踏まえ、石州赤瓦の他地域に対する普及や赤瓦景観の魅力を伝えていく。 ・中国地方赤瓦サミットそして全国赤瓦サミットと赤瓦景観を広い範囲で議論し、保全していくためのリーダーシップを執っていく。
<p>市町村名</p>	<p>島根県江津市</p>
<p>部局／担当者名</p>	<p>建設経済部 都市計画課／山本雅夫・本庄 勉</p>
<p>連絡先</p>	<p>TEL : 0855-52-2501</p>
<p>リンク</p>	<p>http://www.city.gotsu.lg.jp/</p>

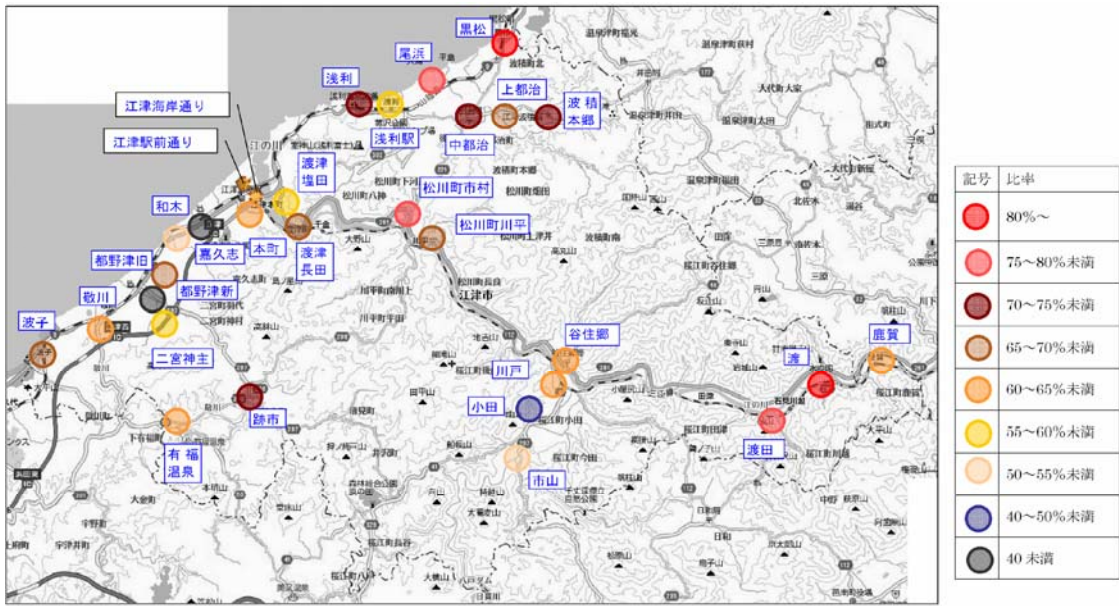


波子地区の集落



黒松地区の集落

取組①-1 赤瓦の街並み調査(古くから残る集落)



取組①-1 江津市内の地区別赤瓦比率

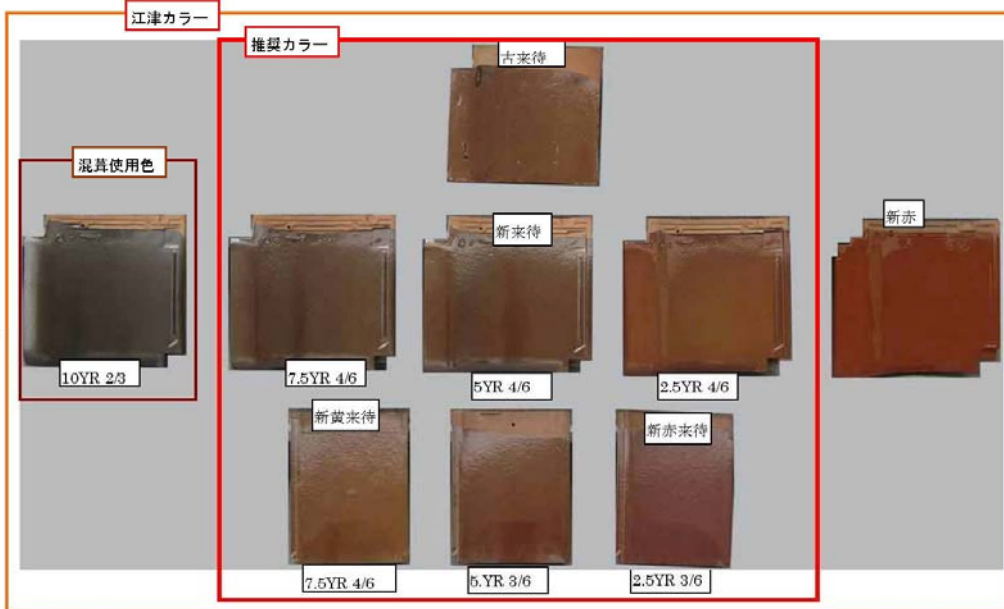


図 推奨カラー

※ マンセル表記：H (色相) V (明度) /C (彩度)

取組①-2 赤瓦江津推奨カラー(案)

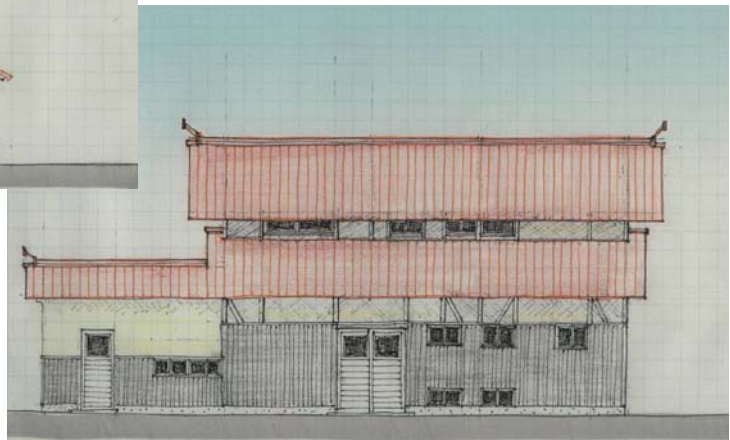
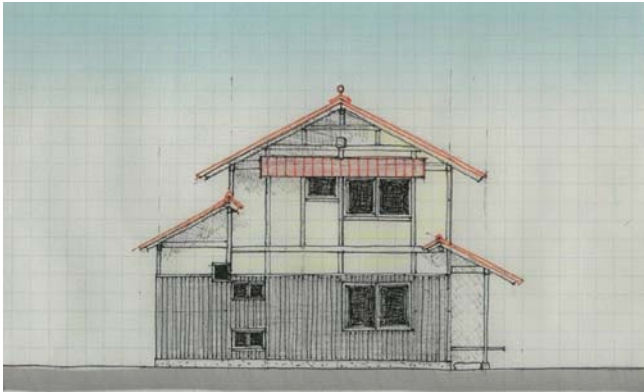


赤瓦絵画コンクールの審査風景

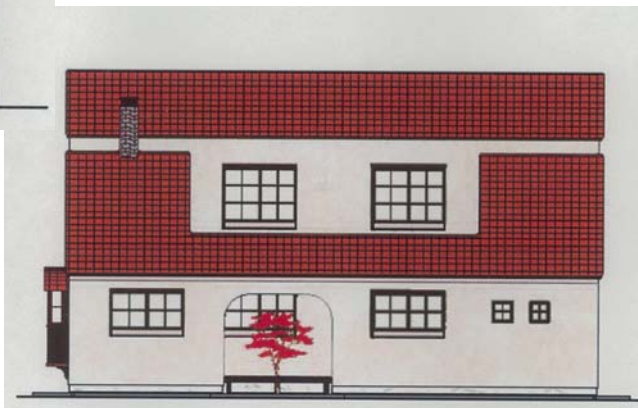


検討協議会の風景

取組② 「赤瓦の映える景観まちづくり計画」検討協議会の様子



取組③-1 赤瓦住宅設計コンペ優秀作品(和風住宅)



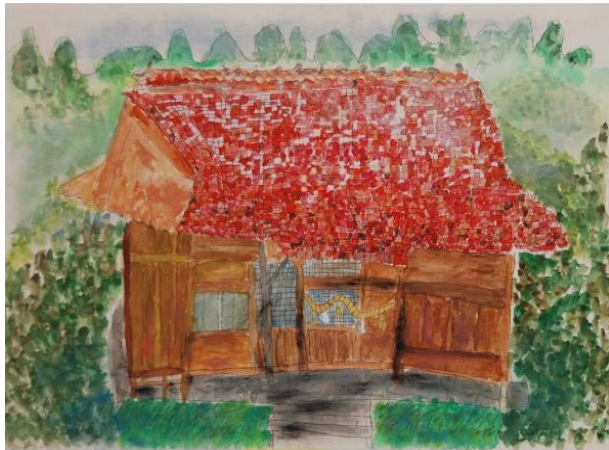
取組③-2 赤瓦住宅設計コンペ優秀作品(洋風住宅)



取組③-3 赤瓦住宅設計コンペ優秀作品(和洋折衷住宅)



取組④-1 赤瓦景観コンテスト(フォトコンテスト最優秀賞作品)



小学校低学年最優秀作品



小学校中学年優秀作品

取組④-2 赤瓦景観コンテスト(絵画コンクール最優秀賞作品)



和風住宅部門最優秀賞



和洋折衷住宅部門優秀賞

取組④-3 赤瓦景観コンテスト(赤瓦住宅デザインコンテスト 優秀作品)



赤瓦景観コンテスト賞入賞作品等展示風景

取組④-4 赤瓦景観コンテスト(入賞作品等展示)